施工完了 チェックシート

確認日	年　月　日
確認者	

1□から6□を

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆ ☑ チェック

1□ クイックフ　スナー 正しく　り　けています

●クイックファスナーが確　に固定されていること。
●　水ホースが回らないように持ち、クイックフ スナーが　く回ること。
●　水ホースを引っ張っても抜けないこと

※クイックファスナーが正しく取り　けされてい いと水漏れが　生するおそれがあります 再度、取り付け手　に従ってください

2□ 温水タンクに水が 入っていますか

●設置完了後、本体のおしりスイッチを押すと、ノズルが出て、温水タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。
※ノズルの左から出る水は、圧力逃がし水であり、水漏れではありません。

3□ 水　れし いませ

●水漏れがないか必ず確認してください。
●水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4□ 電源は入って いますか

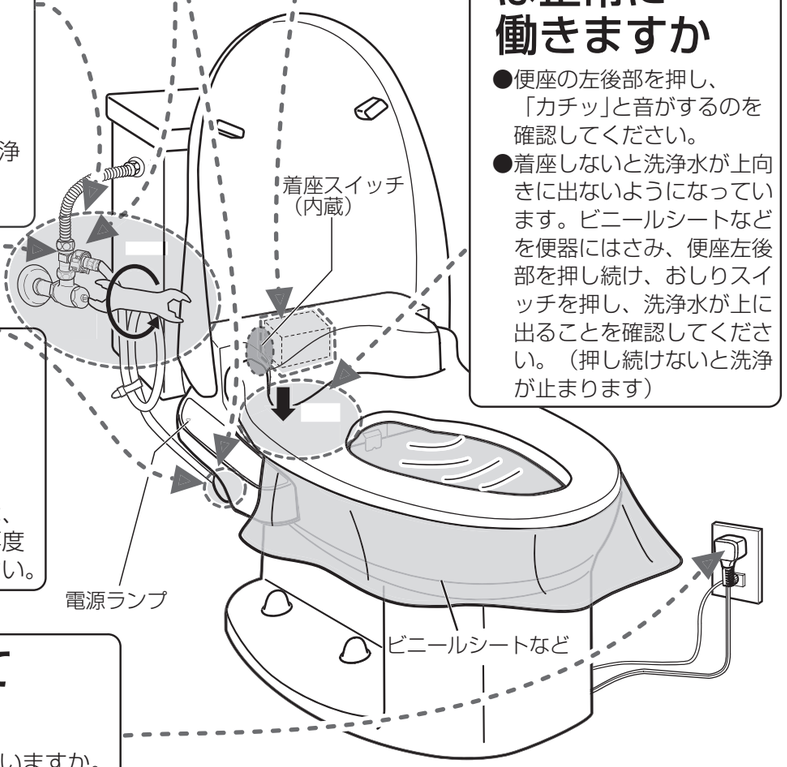
●電源ランプは点灯していますか。

5□ 止水　を開 ていま

●水　の元栓を閉めた場 は　けてください。
●十分開いていないと　浄 強さが　られないこと ありま

6□ 着座スイッチ は正常に 働きますか

●便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。
●着座しないと洗浄水が上向きに出ないようになっています。ビニールシートなどを便器にはさみ、便座左後部を押し続け、おしりスイッチを押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。（押し続けないと洗浄が止まります）



お願い　●試運転は、必ず行ってください。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03(3260)9611　FAX.03(3260)9739

DL949A-QVCP3
CS0410-3084

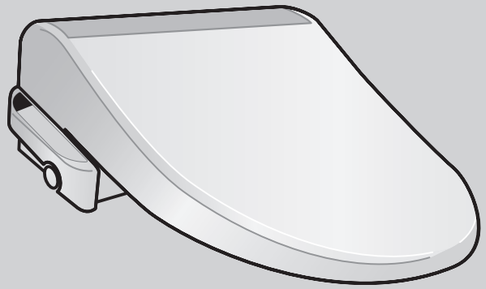
設置工事説明書

日立コンシューマ・マーケティング

家庭用

温水洗浄便座

型式 HOB-3000（エッチ オー ビー 3000）



目　次

準備
■安全上のご注意……2
■設置の前に……3
■各部の名前と同梱部品の確認……4

設置
■設置工事の流れ……6
■止水栓を閉める……8
止水栓がある場合　止水栓がない場合……8
■分岐水栓を取り付ける……9
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合……9
既設の温水洗浄便座から取り替える場合……10

取付
■本体を取り付ける……12
■給水ホースを取り付ける……13
■アース線の接続……14
■止水栓を開ける……14
■リモコンを取り付け、電源を入れる……15

試運転
■試運転……16

確認
■こんなときは……18
■施工完了チェックシート……裏表紙

●安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。
工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。
●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお読みいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、過った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください

⚠警告	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

🚫 この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。

❗ この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠警告

D種接地工事を行う
アース線接続

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

❗電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

電気工事は、内線規程に従って施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因となります。

🚫コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

⚠注意

❗水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因となります。

移動や設置時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

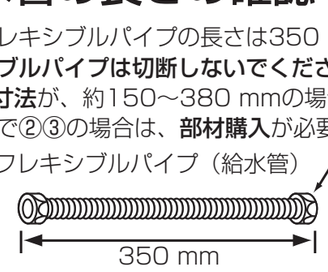
設置の前に

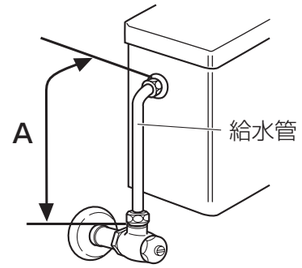
お願い
- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し、とかしてから設置する。
- **必ず同梱の分岐水栓をご使用ください。**

お知らせ
- **この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。**
- 使用水圧範囲は49～735 kPa、{0.5～7.5 kgf/cm^2} です。

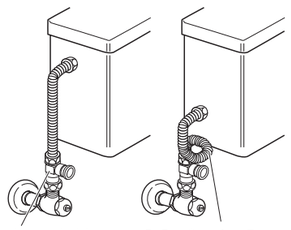
■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは350 mmです。
フレキシブルパイプは切断しないでください。
右図の**A寸法**が、約150～380 mmの場合は、取り付けできます。
上記以外で②③の場合は、**部材購入**が必要です。



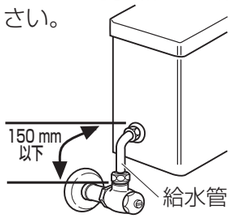


①A寸法が約150～380 mmの場合の設置例



11ページの お願い を参照してください。

②給水管が短い場合または外れない場合
A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。



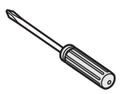
③A寸法が約150～380 mm以外の場合
ホームセンターなどで市販品を購入してください。

■リモコン取付位置の確認

リモコンを取り付ける位置は、15ページを参照してください。

■ご準備いただくもの

メジャー

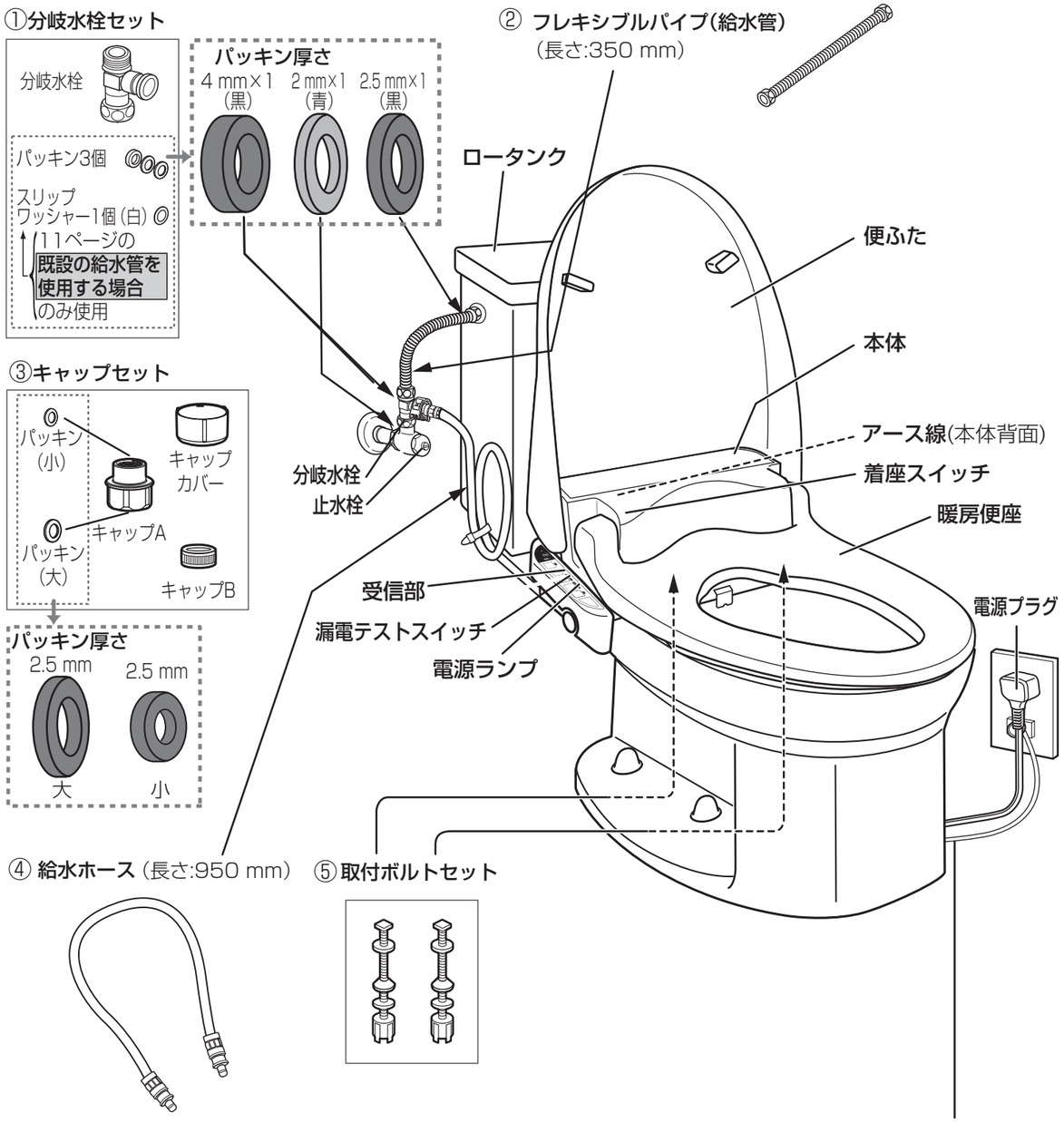

プラス
ドライバー

モンキー
レンチ

バケツ・ぞうきん

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。

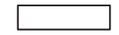


〈リモコン用〉

⑪リモコンセット

リモコン

リモコンホルダー



両面テープ

リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

⑫取付ねじセット

⑬乾電池セット

単3形
アルカリ乾電池
2個

ご注意

- 同梱のパッキンをご使用ください。
  (他のパッキンをご使用されますと接続部が破損するおそれがあります)

【同梱部品】

番号	部品名		数量
①	分岐水栓セット (分岐水栓 パッキン 薄い:黒 (厚さ2.5 mm×1) パッキン 青 (厚さ2 mm×1) パッキン 厚い:黒 (厚さ4 mm×1) スリップワッシャー (白)×1)		1
②	フレキシブルパイプ (給水管)		1
③	キャップセット (キャップカバー キャップA キャップB パッキン 大:黒 (厚さ2.5 mm×1) パッキン 小:黒 (厚さ2.5 mm×1))		1
④	給水ホース		1
⑤	取付ボルトセット		1
⑥	クイックファスナー		2
⑦	結束バンド		2
⑧	説明書セット	取扱説明書	各1
		設置工事説明書	
⑨	スパナ		1
⑩	アース線(本体接続済み)		1

リモコン用

⑪	リモコンセット (リモコン リモコンホルダー 両面テープ)	1
⑫	取付ねじセット	1
⑬	乾電池セット	1

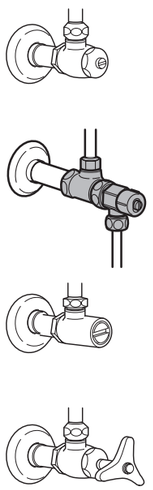
準備

設置工事の流れ

止水栓を閉める

8ページ

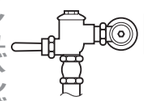
止水栓がある場合



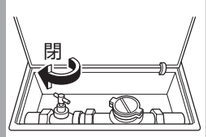
8ページ

止水栓がない場合

フラッシュバルブの場合



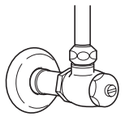
専門業者に依頼する



分岐水栓を取り付ける

初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

9ページ

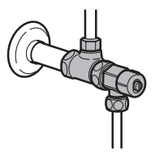


（給水管が短い場合）

9ページ

（既設の分岐水栓が右図タイプ）

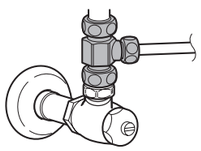
10ページ

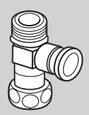


●専門業者に依頼する

（既設の分岐水栓が右図タイプ）

11ページ

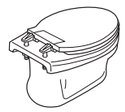




本体を取り付ける

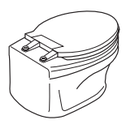
12ページ

下からナット締めができる便器の場合

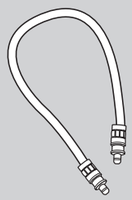


12ページ

下からナット締めができない便器の場合



給水ホースを取り付ける



アース線の接続／止水栓を開ける

リモコンを取り付け、電源を入れる

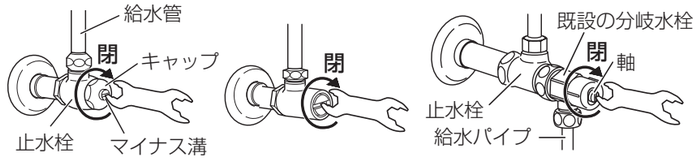
試運転

施工完了チェックシートで確認する

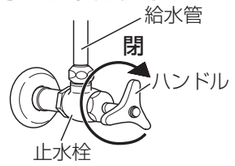
止水栓を閉める

■止水栓がある場合

●マイナス溝タイプ



●ハンドルタイプ



止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流し切ってください。

9〜11ページ　分岐水栓を取り付ける

■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

分岐水栓を取り付ける

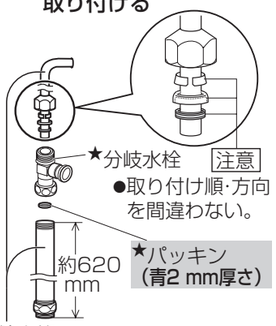
〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

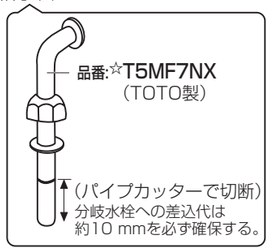
★は、同梱部品です。

寒冷地用の給水管（止水栓なし）から給水する場合

❶ 水道の元栓を閉める

❷ 給水管に分岐水栓を取り付ける





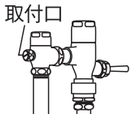
フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

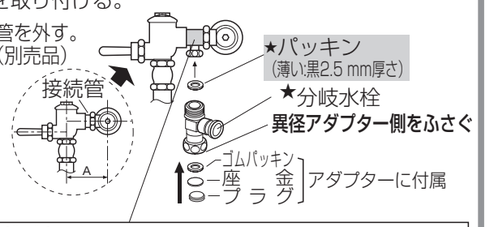
❶ 水道の元栓を閉める

❷ 分岐水栓を取り付ける

●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。



1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター（別売品）を取り付ける。
3. 分岐水栓の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐水栓を接続する。

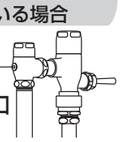


〈別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉

フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合

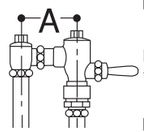
図①



☆ TH343R

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合

図②

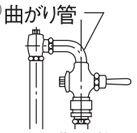


図②のA寸法が120 mmの場合
☆ TH484

図②のA寸法が120 mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合
☆ TH502-1R（1S）

図②のA寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合
☆ TH347-1R（1S）

図③ 曲がり管



図③のように曲がり管の場合
☆ TH484-1

取付後、水道の元栓を開けてください。

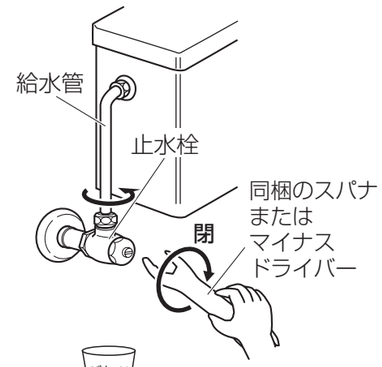
☆は、別売品です。ご購入された販売店へお問合せください。

12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

分岐水栓を取り付ける　初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

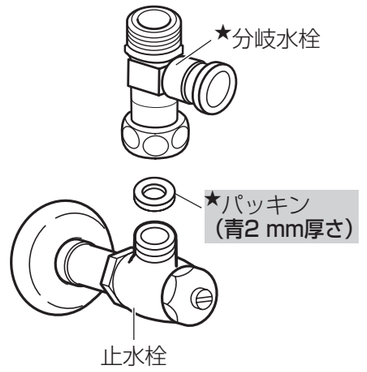
★は、同梱部品です。

❶ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける

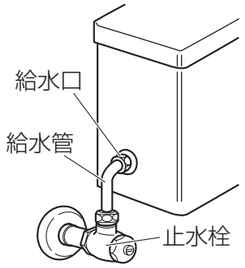


〈分岐水栓の締め付け方〉

11ページ　分岐水栓を取り付ける ❷ 給水管の取り付け

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。



ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐水栓とフレキシブルパイプが接続できない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

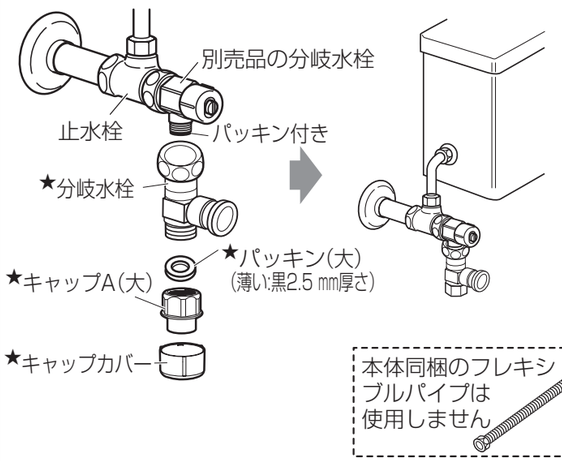
〈別売品〉品番：HOB-DL531A

分岐水栓　1個　　説明書　1枚

❶ 水道の元栓を閉める

❷ 別売品の分岐水栓を取り付ける

❸ 本体同梱の分岐水栓を取り付ける



本体同梱のフレキシブルパイプは使用しません

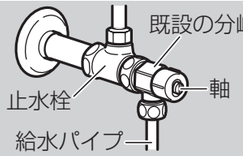
詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

分岐水栓を取り付ける　既設の温水洗浄便座　から取り替える場合

★は、同梱部品です。

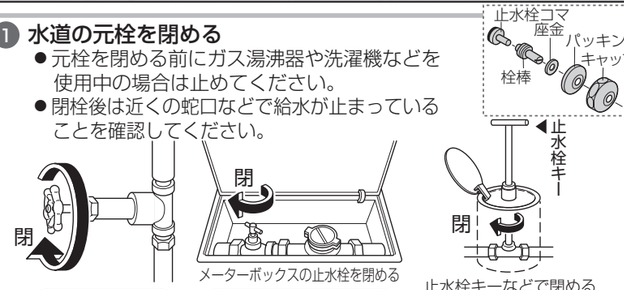
既設の分岐水栓が右図のタイプ Ⓐ

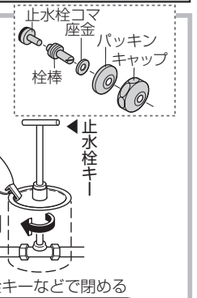


既設の止水栓を元に戻す場合 →□内の部品が必要です。専門業者に依頼してください。

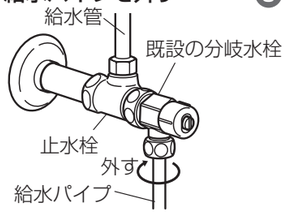
❶ 水道の元栓を閉める

- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

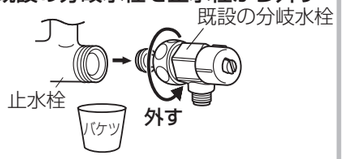




❷ 給水パイプを外す

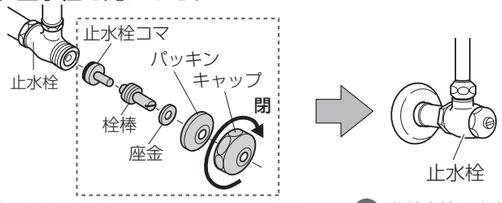


❸ 既設の分岐水栓を止水栓から外す

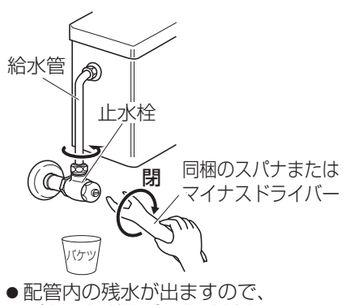


- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❹ 止水栓を元にもどす



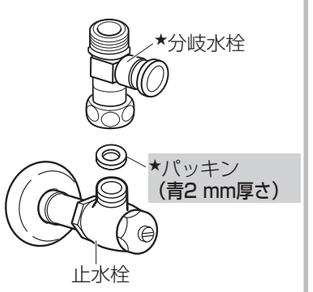
❺ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❻ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

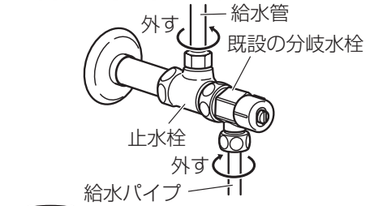


既設の分岐水栓を外さずに取り付ける場合

下図❶の※(口径)に、同梱のキャップセットが合う場合は、下記の手順で取り付けできます。

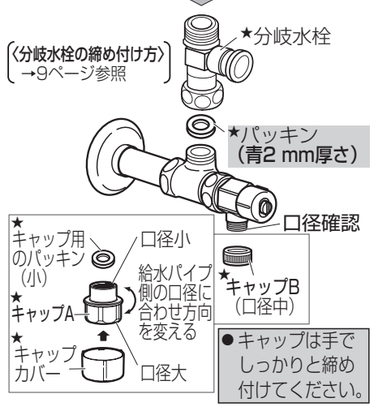
❶ 止水栓が閉まっていることを確認する

❷ 給水管と給水パイプを外し、同梱の分岐水栓を取り付ける



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照



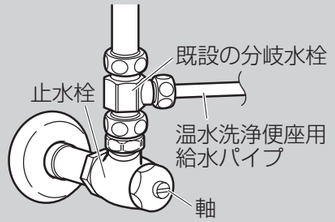
- キャップは手でしっかりと締め付けてください。

●口径に合わせてA,B2種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同梱のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。

11ページ　分岐水栓を取り付ける　❷ 給水管の取り付け

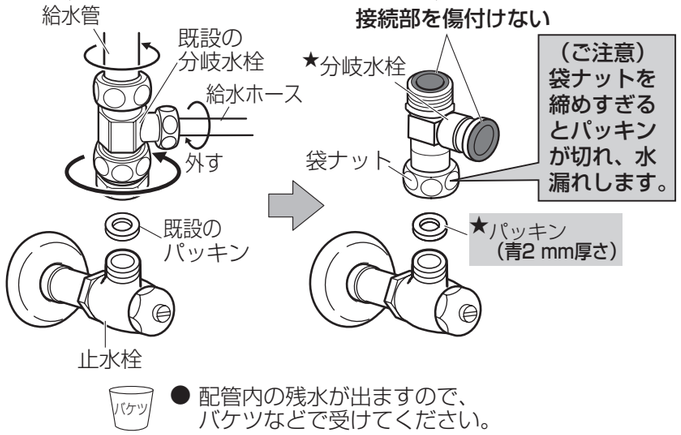
★は、同梱部品です。

既設の分岐水栓が下図のタイプⒷ



❶ 給水管を外してから、同梱の分岐水栓に交換する

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照



バケツ

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 給水管の取り付け

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。
（既にフレキシブルパイプで接続されているトイレの場合は、そのまま使用できます）

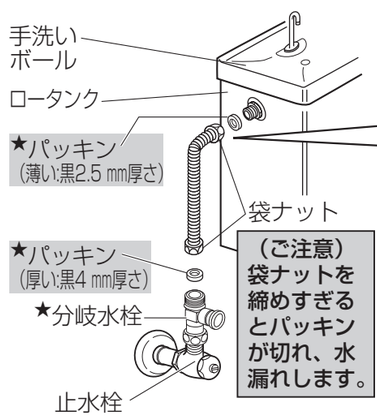
お願い

フレキシブルパイプは

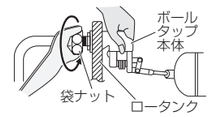
- **曲げ過ぎない**
- **何度も曲げ直さない（折れることがあります）**
- **曲げるときは袋ナットを両端に寄せてからL型に曲げる（袋ナットが移動できなくなります）**
- **切断しない**
- **長さが合わないときは、ホームセンターなどで市販品を購入してください。**

既設の給水管を使用する場合

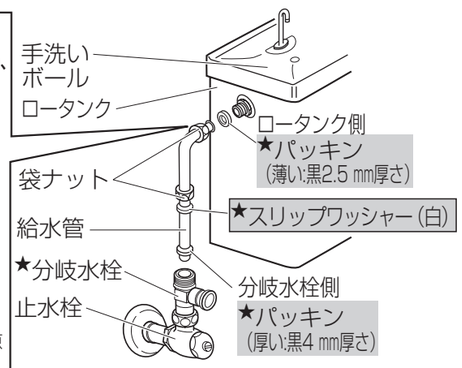
- 分岐水栓側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐水栓への差込代は約10 mmを必ず確保する。



（ご注意）
ロータンクに水が入らない、止まらないの防止をする



- ボールタップが回転しないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると浮子がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



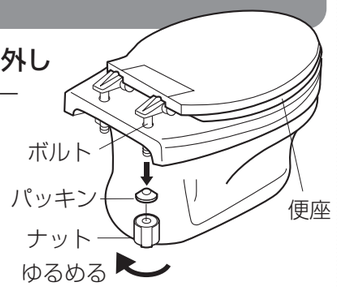
12ページ　本体を取り付ける

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

① 既設便座の取り外し

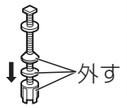
1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。



（ナットがさびてゆるまないときは）
- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこでボルトを切断する。

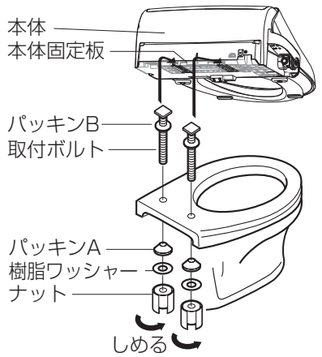
② 本体の取り付け（同梱の取付ボルトセット使用）

1. 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンAを外す。
2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝　に差し込む。
3. パッキンBを上に動かして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
4. 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンA・樹脂ワッシャーの順で取り付けた後、ナットを手でしっかり締め付ける。



（お願い）工具でナットを締め付けないでください。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。



取付ボルトが長すぎるときは
- 金のこなどで適当な長さに切断する。

■便ふたの後部がロータンクにすれるまたは強く当たる場合

⇒すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。

■便器によって便座が倒れやすい場合

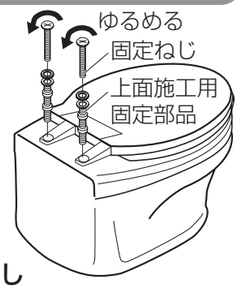
⇒倒れない程度に少し前に引き出して取り付ける。

本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げないように注意する。

下からナット締めができない便器の場合

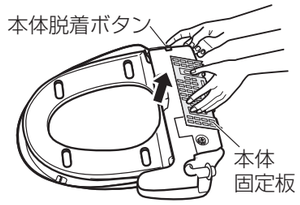
① 既設便座の取り外し

固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
- 取り外した部品は、取り付け時に使用します。



② 本体固定板の取り外し

本体裏面より本体固定板を取り外す。



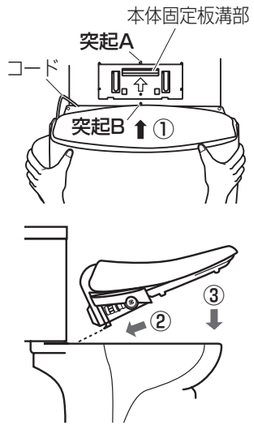
- 本体脱着ボタンを押しながら本体固定板を持ち上げる。

③ 本体固定板の取り付け（既設の部品を使用）

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。

④ 本体の取り付け

①右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。
- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。



本体を便器に設置後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

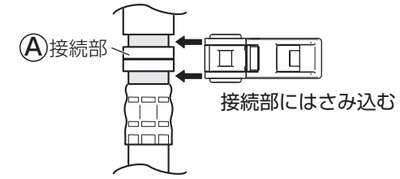
給水ホースを取り付ける

① 分岐水栓への接続

1.給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、分岐水栓の接続口に**まっすぐ**差し込む。

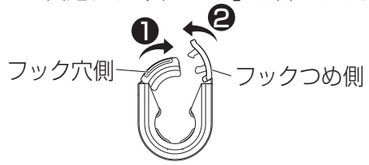
（ご注意）給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

2.クイックファスナーを給水ホースと分岐水栓接続部に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がします）



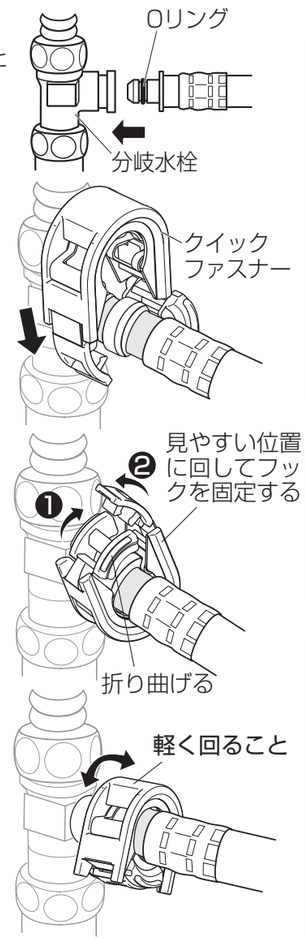
3.フックを確実に固定する

❶フック穴側を折り曲げる
❷フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する（「パチッ」と音がします）



4.給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。

※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

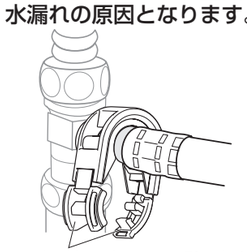


ご注意
- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む
- 付属の結束バンド以外で結束しない
- 給水ホースは小さく曲げない（小さく曲げると折れて水の流れが悪くなるおそれがあります：最小曲げ半径 約10 cm）

お願い
- フックが閉じないときは、Ⓐ接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

悪い接続例

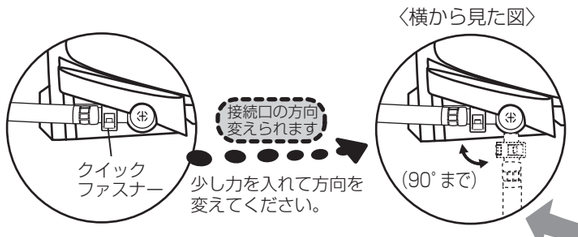
※フックが確実に固定されていないと外れたときに重大な水漏れの原因となります。

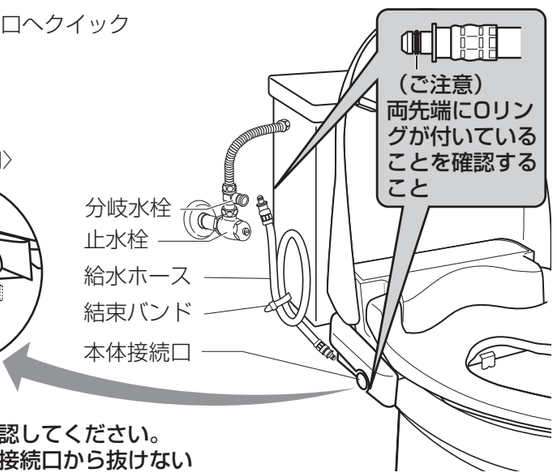


フックが固定されていない

② 本体への接続

- 分岐水栓への接続と同様に給水ホースを本体接続口へクイックファスナーで固定してください。





③ 必ず確認

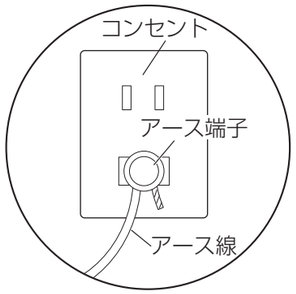
- **クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。**
- **給水ホースを引っ張って、分岐水栓接続口や本体接続口から抜けないことを確認してください。**

取付

アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

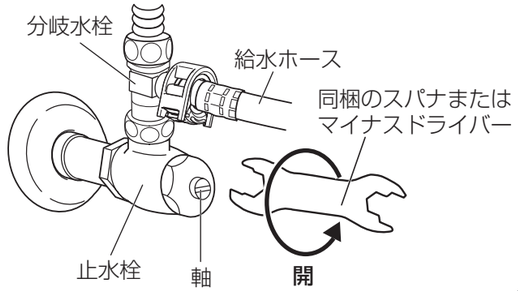


上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

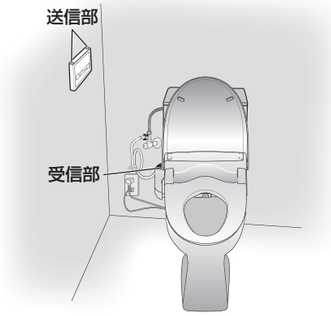
各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

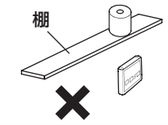


リモコンを取り付け、電源を入れる

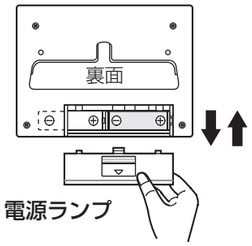
- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



❶ リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる



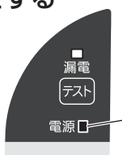
❷ 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

①電源プラグを差し込む
- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する

②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す
- 本体の電源ランプが1回点滅する

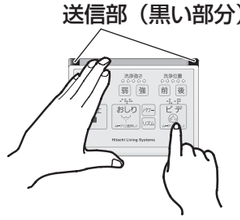
↓

送受信可能な位置です。



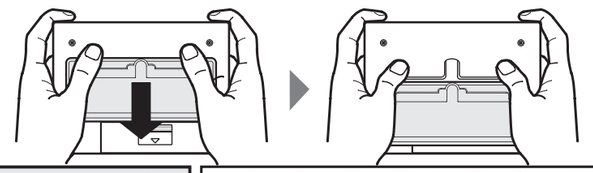
◆ 電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

送信部（黒い部分）

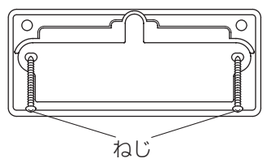
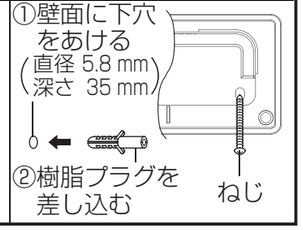
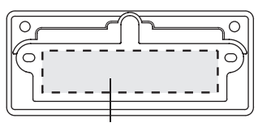


❸ リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

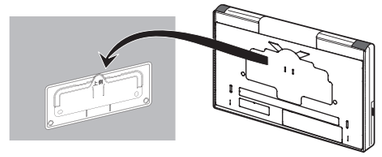
①リモコンからホルダーを外す
- ホルダー上を指で押さえながら下方向にずらして外す



②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材（タイル）
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル ●石こうボード ●コンクリートなど	●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面がザラザラした壁面や凹凸がある面（クロスなど）に取り付けるとリモコンが落ちる場合があります。
 ●ねじ2本で壁面に取り付ける		

③リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む



④リモコンが取り外せることを確認する（電池交換が必要なため）

取付

試運転

試運転の前に…　水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手　順

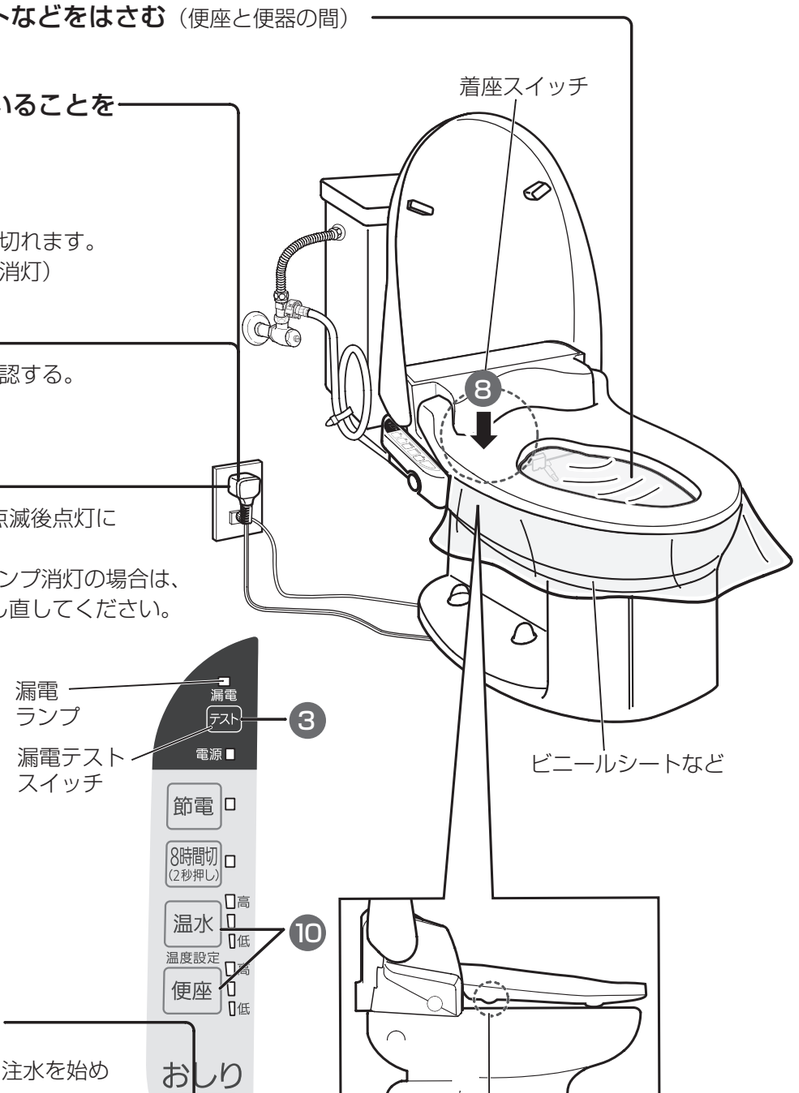
1 本体梱包用のビニールシートなどをはさむ（便座と便器の間）

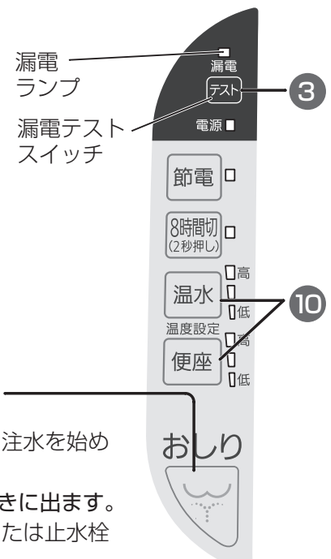
2 電源プラグが差し込まれていることを確認する

3 漏電テストスイッチを押す
- ●漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
（漏電ランプ点灯・電源ランプ消灯）

4 電源プラグを抜く
- ●漏電ランプが消灯することを確認する。

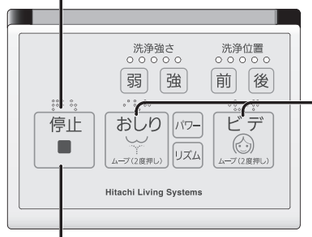
5 電源プラグを差す
- ●本体の電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。
漏電ランプ点灯の場合、電源ランプ消灯の場合は、10秒後に再度電源プラグを差し直してください。





6 本体操作部の　を押す
- ●おしりノズルが出て、タンクに注水を始めます。
約1分後、ノズルから水が下向きに出ます。
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。
- ◎着座スイッチがON状態になっていない場合は、ノズルお手入れ状態になり、水は下向きに出ます。

便座の後ろ脚の両方が浮いている状態が正常です。この浮き（隙間3 mm以上）がないと着座スイッチが「入」になりません。また、便器によっては前脚の片側も浮いている場合がありますが、着座すると接触するため異常ではありません。



7 リモコンの 停止 を押す
- ●ノズルが元に戻ります。

8 便座の左後部を押しながら、リモコンの おしり または ビデ を押す
- ●脱臭が始まります。
- ●ノズルを洗浄し、約3秒後に洗浄水が出ます。
（着座スイッチがON状態になっていないと、洗浄水が上に出ません）

〈便座の左後部を押さずに本体の　を押した場合〉
ノズルがお手入れ状態になり水が下向きに出ます。
→この場合、リモコンの 停止 を押して、ノズルが収納されるのを確認してください。その後、手順 8 から試運転を行ってください。

9 リモコンの 停止 を押す
- ●ノズルが戻ってからノズルを洗浄する水が出ます。

10 便座 と 温水 のスイッチで温度を設定し、通電約5分後に便座と洗浄水のあたたかさを確認する
- ●ビニールシートの上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

11 ビニールシートを外す

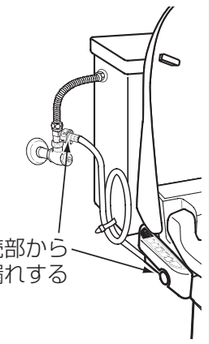
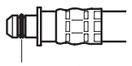
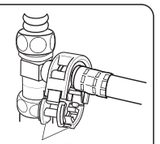
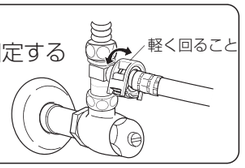
温水タンクの空だき防止装置について

- ●試運転の手順 6 の時点で、本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時点滅している場合は、温水タンクの空だき防止装置の**作動**で**故障ではありません。**

〈この場合は…〉
- ・止水栓が開いていることを確認し、電源プラグを抜いて約4～10分待って、再度手順 5 から試運転を行う。

洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。（洗浄後、約7～8分）

こんなときは

現　象	考えられる原因と処置方法		参照ページ
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	14
	水道水フィルターがつまっている	掃除する	取扱説明書
	ロータンクに水が給水中	水が貯まるのを待つ	―
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	13
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	―
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ 	確実に固定する 	13
電源が入らない	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（本体の漏電ランプが点灯）	電源プラグを抜き漏電ランプが消灯してから電源プラグを差し込む	16
本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時に点滅する	● 止水栓が開になっていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込み、温水温度設定を行った	止水栓が開いていることを確認し、電源プラグを抜いて約4～10分待って、その後、再度試運転を行う	17
作動しない	着座スイッチが入ってない（便器に歪みがあります）	同梱の調節パッキンで便器の歪みを調整する	―
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する		取扱説明書の「ご相談窓口」にご連絡ください	

工事後の注意　凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

おしり/ビデ洗浄できない場合は、1、2の項をご確認ください

この部品は、便器の形状により必要になる場合があります。

使用上のご注意とお願い

1. 便座に深く座らないと洗浄水が出ません。

便座後側に人が座ったことを検知するスイッチがあります。
便座に深く座らないと、人が座ったことを検知できないため、「おしり/ビデ洗浄できない」場合があります。

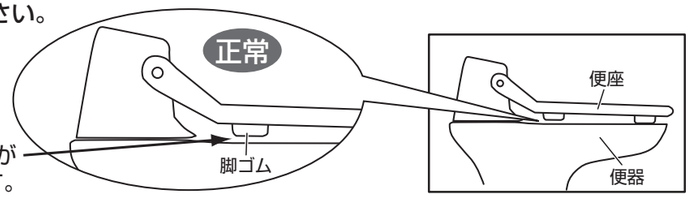
〈好ましい例〉　〈好ましくない例〉

○ 深く座る　× 前に座る　× 前かがみ

×の2例は、重心が便座前側にかかっている

2. 便器の形状によっては、便座に深く座っても洗浄水が出ない場合があります。

■下記内容をご確認ください。

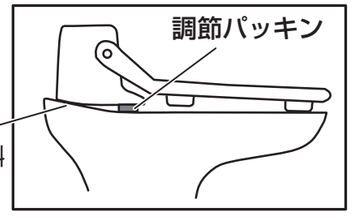


便器と脚ゴムとの隙間が「3 ㎜以上」必要です。

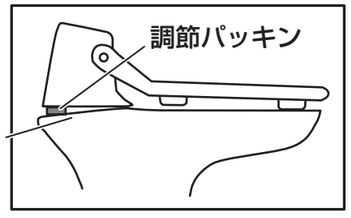
■便器と脚ゴムとの隙間が「3 mm以上」ない場合は、同梱の調節パッキンを下記の要領で取り付けてください。
※調節パッキンは便座脚ゴムには取り付けないでください。

●**調節パッキンの取付方法**（本体の取り外し、取り付けの詳細は、取扱説明書を参照してください。）

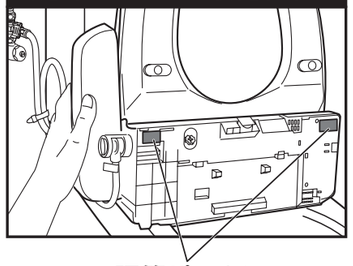
Aパターン……便器が前に傾斜



Bパターン……便器が後ろに傾斜



調節パッキン取付位置



調節パッキン取付位置